

校名：群馬大学 教育学部 附属特別支援学校

所在地：〒371-0032 群馬県前橋市若宮町2-8-1 電話番号 027-231-1384 :

記載日：2016年05月10日

記載者：坂西 秀昭

記載者役職：副校長

本校の特色について

- ・開校以来、「子どもがいて学校がある」をモットーに、子ども主体の学校づくりに取り組んでいる。
- ・国立大学法人で唯一、小学校と校舎や運動場を共有している。
- ・群馬大学の教育学部等との協力・共存を目指している。
- ・学校の施設・設備等の状況や、地域における障害のある児童等の状況について考慮して、知的障害の教育を対象としている。

<立地条件>

本校は、前橋市街地にあり、学校近隣には複数の公立学校園や大型スーパーマーケット、文化施設などの公共施設がある。

特に本校舎は、附属小学校と施設を共有しており、両校の児童生徒が普段より廊下等で自然にあいさつを交わし、日ごろから交流を重ねている。敷地内には共有スペースも多く、校庭の遊具やトイレ、特別教室、プール等を普段の生活の中で共有しつつ、相互理解を図っている。昨年からは、同学年での教科学習を、交流の目的を含ませつつ行う指導を試みている。

また、市内の公立中学校附属幼稚園とも公道はさみ隣接しており、計画的な交流を行っている。

附属特別支援学校

附属小学校

附属幼稚園



公立中学校

卒業生の活躍状況について：

- ① 卒後の様子を確認するために追跡調査は行っている。夏休み期間に全教員が就労先に出向いたりアンケート調査を実施したりしている。
- ② 卒後の会等を実施するに当たり連絡を取り、状況確認を行っている。情報は学校が管理している。

勤務経験者の動向について：

- ① 新聞等での人事異動の掲載で異動先の確認を行い把握する。
- ② 異動先情報は学校が把握している。
- ③ 公開研究会や授業作り、行事等にも参加している。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて

<立地条件について>

立地条件を生かし、商店街施設を借用しての作業学習や、近隣校との交流を進めている。近隣にある県立高等学校とは中学部や高等部が交流を深めている。特に高等部については、作業学習において計画的な学習の場を設けている。

<喫茶サービス・ビルメンテナンス>

前橋市の協力を得て、市内商店街の一角に中学部・高等部による作業学習カフェ：スマイル（前橋市施設名：まちなかサロン）を予定日に開設したりビルメンテナンスを行ったりし、地域との交流を図るとともに、以下の目的により作業学習での学びの場としスキルアップに努めている。

目的

○「まちなかサロン」にて喫茶サービスやビルメンテナンス等の活動を行うことにより、①人の役に立つことへのやりがいを感じ、卒業後の就労への意欲を高めること、②地域での実際的な学習の中で、勤労観・職業観を養うことを目的とする。

活動場所

○前橋市中心商店街「まちなかサロン」



開店前の準備



開店前の挨拶練習

<近隣中学校との作業交流>

目的

○両校の目立つ場所に、花を飾ったり、協力して植えた花のプランターを飾ったりすることで、町内美化、地域貢献に努める。

○これまで交流してきた経験を生かし、互いに協力し作業することで両校の美化に努めようとする意識を高める。

活動場所

作業交流：本校体育館前，本校東側道路沿いの生け垣前

花苗の配付：中学校ラウンジ，本校教員室，地域商店

内容

- ・各班に分かれての準備作業
- ・花の苗をプランターに植える。
- ・両校の目立つ場所にプランターを飾ったり，道路沿いに花を植えたりする。



<近隣高等学校との作業交流>

目的

○高等学校生徒と本校生徒が農業実習等をとおして、お互いの良さを認めながら、相互理解を図る。

活動場所

附属特別支援学校・附属特別支援学校農場・学校周辺

内容

- ・各班に分かれての準備作業
- ・きゅうり，なす，トマト，ピーマンの苗植え，トウモロコシの種まき
- ・きゅうり棚の支柱の組み立て，設置
- ・秋野菜の種植え
- ・ツリーイング
- ・まゆクラフト
- ・学校周辺の校外清掃



<運動まつりの実施による近隣地域・学校との交流>

目的

○一緒に体を動かすことをとおして，大学生，参加団体の方々，地区近隣の方々，附属幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒，保護者と交流を深める。

○様々な種目に触れることをとおして，運動に対する興味を高め，余暇活動を広げたり体力づくりに関心を持ったりするきっかけとする。

活動場所

群馬大学キャンパス（陸上競技場，サッカー場，テニスコート
体育館，武道場，体育研究室，大学内生協）



<ふようまつり（学校祭）の実施による近隣地域・学校との交流>

目的

○児童生徒が発表や販売等をとおして多くの人とかかわり，お祭りの雰囲気を楽しむ。

○児童生徒がお祭りを楽しむ中で，発表や販売などの企画・活動に主体的に参加する。

○地域自治体・支援団体・交流先の近隣校等の園児・児童・生徒・保護者の交流を深め広げる。

活動場所

本校北校舎1階，東校舎1階，小校庭，体育館

基本方針

○本校の児童生徒をはじめ，当日集まった人たちが，その場で共に触れ合ったり一緒に参加したりして楽しめる活動を企画し，いろいろな人との交流を深められるようにする。

○他団体等を含む実行委員会を設置し，意見交換を行いながら計画を進めるようにする。

○実行委員会は，学校（総務係），PTA本部役員，卒業生の会，支援団体，大学人材バンク代表，附属幼小中PTA会長とする。また，本校に関係する事業所，福祉機関等にも支援団体等を通じて参加を呼びかけていく。また，地域の私立大や近隣中学校等へボランティアの要請も行っていく。

内容

- ・オープニングイベント（地域御神輿の入場）
- ・ステージ発表（本校児童生徒・近隣中学生による演技と本校児童生徒との交流演技・附属PTAクラブの発表・八木節演奏・卒業生の会の合唱・大学サークルの発表 等）
- ・模擬店（中高作業班・附属PTA・支援団体）
- ・エンディング（八木節会の演奏でみんなで踊りの交流）



<卒後に向けての体力向上>

卒後の就労に向けた体力づくりや修学旅行を達成するために、トレーニングや修学旅行事前学習を行うことをとおして、自分から取り組む意欲を高め、最後までやり遂げる達成感を得る。

① 校外学習「ロード練習」の実施

目的

- 将来の就労先や修学旅行での活動に向けて、長い距離を歩いたり走ったりして、体力や持久力をつける。
- 仲間のがんばりを認め、お互いに応援したり、サポートしたりする。
- 自分の力を十分に発揮するために、走ったり、歩いたりすることに慣れる。

② 校外学習「自分のからだを知ろう」の実施

目的

- 自分に合った運動プログラムを見つけるために大学の研究室で体組成計等を用いて測定し、測定結果からの運動処方に興味関心を持ち、ジョギングや運動の仕方を工夫したり、トレーニングに取り組む意欲を高めたりする。
- 測定は、体組成測定、骨密度測定、線上歩行測定、ヘモグロビン測定を行い身体の様子を知る。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

昭和54年の開校以来、地域との交流が深く、以前は作業学習等をおして地域自治会高齢者グループとの交流も行われた。

附属学校は、大学が以前附属学校に隣接していた時代から地域の結びつきが強く、現在も附属学校行事への地域の参加や、地域伝統芸能での交流や発表が行われており、地域に根ざしている。

また地域に見守られた安全な生活環境の中で、隣接する公立学校や近隣の高等学校との交流や地域施設の利用等から、在籍児童生徒の活動範囲が広がっている。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

本校は、国立大学附属で唯一附属小学校と校舎を共有し、さらに公立学校と敷地が隣接しているという立地条件から、各校と日常から交流を重ねている。附属小は共有スペース等空間を同じくするだけではなく、両校の児童生徒はもとより保護者や地域とも相互理解が図られている。共生社会を目指す今日、教育課題に対応した研究・実践が発信できる場として今後も大切にしたい。